



質問	前期生徒	肯定回答%	後期生徒	肯定回答%	前期保護者	肯定回答%	後期保護者	肯定回答%
[9.学校内外であいさつをいつも心がけていますか]		92%		92%		89%		92%
[10.どんな理由があってもいじめはしてはいけなと思っていますか]		100%		100%		100%		96%
[11.TVやゲーム、スマホなどについてルールを決めていますか]		46%		46%		63%		56%
[12.起床・就寝時刻、TVやゲーム、スマホの使用時間など、生活リズムに気を付けていますか]		76%		70%		68%		68%
[13.自分の体力の状態(新体力テストの結果等)を知り、運動に親しもうとしていますか]		84%		78%		79%		76%
[14.学校行事、部活動や生徒会・委員会活動に進んで取り組み、満足できる活動になっていますか]		100%		97%		89%		96%

○ (問11 テレビ・ゲーム・スマホのルールを決めている 場合)どのようなルールですか。

【生徒記述】

- 見すぎない
- やる事が終わらないとゲーム等ができない
- 時間や寝る前などはなるべくしないなど
- 勉強してからゲームする
- なるべく勉強をしてからメディアに触れる事です。
- 厳しいルール
- ゲームの制限時間
- 時間制限、画面の距離、必ず電気をつける。
- 一日2時間
- ある程度スマホを使ったら30分目を休ませる
- 勉強した時間だけYouTubeとか見たりしてる
- 長時間見すぎないこと
- 平日二時間・休日四時間まで
- 夜は九時まで
- 正しい使い方
- 勉強が終わってからやる。
- 1日1時間午後8時以降は禁止
- スマホの使用時間に制限をかけている。

【保護者記述】

- 自分のすべき事を全て終わらせてからゲームなどする
- メディアは平日1時間、休日2時間まで
- 優先するものが終わったらやらせている。
- 週に4回1時、休みのひは2時間
- 22時まで
- 時間を決めている。また、テストで目標平均点に達せなかった場合は連絡以外の電子機器の使用を当面禁止とし、その時間を勉強にあてている。
- 使用する時間を決めている
- 毎日携帯を見る時間は何時まで。等。
- 使用時間
- ゲームなどの課金はしてはいけない。
- スマホはインターネット含めて1~2時間以内

○意見・要望があれば自由にご記入ください。

【生徒記述】

- いじめを無くすようなことやいじめがあってそのいじめに対応してほしい
- 部活動が少なすぎ!!先生たちの事情とかあるのは知ってるけどもうちょい工夫してほしい

(質問 8 に 1・2 を付けたことに関連して)

- やりたくない。めんどくさい。などの気持ちが強くてできない。
- スマホを触りすぎてしまうから勉強時間も少なくなるし寝る時間も少なくなるため 2、1 を付けた
- ゲームは楽しいし、やめるつもりはない。以上です。
- 日頃の様子から

(質問 13 に 1・2 を付けたことに関連して)

- 勉強や運動を積極的にしないので、13 に 1 をつけました
- 運動することのメリットを考える。インターネット以外の楽しみを探すことでメディアの視聴時間が減る。

アンケートを通して、いじめに対する不安や、「無くしてほしい」「きちんと対応してほしい」という強い思いが伝わってきました。勇気を出して声をあげてくれたことに、心から感謝します。いじめは、どのような理由があっても決して許されるものではありません。本校では、いじめを見過ごさず、早期に気づき、組織として対応することを大切にしています。もし、いじめを受けている、またはいじめを見聞きした場合には、担任の先生や学年の先生、養護教諭、カウンセラー、教頭・校長など、話しやすい大人に必ず相談してください。皆さん一人一人が大切な存在です。これからも、皆さんの声に耳を傾けながら、安心して学べる学校となるよう、教職員一同、全力で取り組んでいきます。

部活動の回数についての率直な意見、ありがとうございます。限られた活動回数の中で、もっと練習したい、仲間と活動する時間を増やしたいと感じているあなたの思いが伝わってきました。現在は活動回数に一定の制限がありますが、練習の質を高める工夫や、曜日・時間帯の見直しなど、可能な方法を検討しています。皆さんが充実感をもって部活動に取り組めるよう、引き続き改善を図っていきます。

#### 【保護者記述】

- 部活動の日数が少なくもっと練習したいようです。家庭学習を自らせず、親もどうして良いのか悩んでいます。寺子屋を毎回行くように子供に言ってます。塾に通うか検討してます
- 8. テスト前の家庭学習はするが、毎日の習慣にはなっていない。
- 反抗期であり学校の様子もあまり見えてこないの。参考にならず申し訳ありません。
- 先生方にご迷惑をおかけしておりますが、これからもよろしく願いたします。
- 運動が苦手なので、進んで体を動かそうとはしているようにはみえません。体育の授業など最低限の運動はしていると思います。冬になると登下校も送迎などしがちで余計体を動かしてないかもしれません。
- 授業で難しい問題があると取り組んでは見るものの解けない問題は諦めてしまうみたいです。

「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、前期の 95%から後期には 78%に下がったことについて、学校として重く受け止めています。また、保護者アンケートで寄せられた「授業で難しい問題があると、取り組んではみるものの、解けない問題は諦めてしまうようだ」という声は、現在の学習の様子を的確に表しているものと感じています。

考えられることとして、前期アンケートを実施した6月と比較して学習内容が増えたり、より応用力を要する単元に入ったりしたことが挙げられます。また、先日実施した子ども理解支援ツールの結果から、子どもたちが客観的に自分を見ることができるようになってきたことが読み取れました。自分の力や状況を正しく理解することができるようになったことは、一方ではうれしい成長と捉えています。

現在、本校では「すぐに答えが出る問題」だけでなく、「自分で考え、試行錯誤する問題」にも粘り強く向き合う子どもを育てたいと考え、日々の授業づくりに励んでいます。そのため、一時的に「分からない」「難しい」と感じる場面が増え、アンケート結果に表れている可能性があります。この取組は、すぐに数値として成果が表れるものではありませんが、考える力や、簡単に諦めずに取り組む姿勢を育てるために必要な過程だと考えています。教師も、生徒が途中で諦めてしまわないよう、声かけや支援の方法を工夫しながら授業改善を続けています。また、前期の結果を受けて、リーディングスキルテスト（RST）を活用し、改善を図っているところでもあります。あわせて、寺子屋、学習相談会、長期休業中学習サポートの取組も推進しています。今後も、生徒一人一人が「分からない」から「分かる」「やってみよう」へと進めるよう、丁寧な指導を重ねていきます。引き続き、学校の取組へのご理解とご協力をお願いいたします。

お忙しい中、アンケートへご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。また、選択肢への回答だけでなく、自由記述にもたくさんのご意見をいただきました。職員へのねぎらいの言葉はたいへん嬉しく、励みになりました。また、学校改善へ向けのご意見も大変ありがたく思います。いただきましたご意見を参考に、より良い学校づくりのために努めてまいります。今後も学校運営へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。